

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 4 日作成)

| | | | |
|------------------------------|--|--|--------------------------------|
| 小委員会名 | 健全な水環境の形成検討小委員会 | | 主 査 名：長尾 良久 就任年月：2008 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 環境工学本委員会 (水環境運営委員会) | | 委員長名：井上 勝夫 主 査 名：小瀬 博之 |
| 設 置 期 間 | 2008 年 4 月 ~ 2011 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>前年度、水環境憲章小委員会において、「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」が検討・作成された。この考え方について事例等を含んだわかりやすい解説資料を作成し、学会内外へ発信する。</p> <p>初年度：(1) 考え方の公表 (2) 解説の情報伝達(発信)のシナリオ検討と確定 解説の掲載項目・内容・フォームの検討と確定、情報収集と原稿(案)作成着手</p> <p>2 年度： 解説(案)の作成、シンポジウム開催、解説のまとめ</p> <p>3 年度： 解説の完成と公表、関係諸団体への情報発信</p> | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：無 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 浅野良晴(信州大学) ・ 大塚雅之(関東学院大学) ・ 小瀬博之(東洋大学) ・ 高地進(ピ-エ-シ-環境エ-ト) ・ 黒岩哲彦(アルキテクタ)・ 加藤篤(日本トイレ協会) ・ 川人尚美(竹中工務店) ・ 長尾良久(TOTO) 計 8 名 | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | なし | | |
| 2008 年度予算 | 65,000 円 | 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s21/ | |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数 | 6 回(年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | なし |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | なし |
| 大会研究集会 | なし |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | 1. 「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」パンフレット |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <p>1. 前小委員会から継続事項として、「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」を次記方法で公表した。水環境運営委員会ホームページへの掲載。パンフレット作成と関連諸団体への送付</p> <p>2. (1) 解説の情報伝達(発信)のシナリオ(案)を検討・作成した。 (2) 解説の掲載項目・内容・フォーム(案)を検討・作成した。 (3) 情報収集と原稿(案)作成に着手した。</p> |
| 委員会活動の問題点・課題 | <p>1. 解説書作成に当たり、情報収集の量と質の向上。</p> <p>2. 委員の増強(増員)</p> |

2008 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

| | |
|--|---|
| <p>総合評価 (4段階評価)</p> | <p>A</p> |
| <p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p> | <p>前年終了の小委員会で完結できなかった「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」を公表できたこと。また、解説書の作成に向けた、各種検討と情報収集に着手でき、ほぼ目標を達成できたため、上記評価とする。</p> |

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。